

研究・調査報告書

報告書番号	担当
309	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
題名（原題／訳）	
<p>Differences in drinking behavior and access to alcohol between Native American and white adolescents.</p> <p>アメリカ大陸先住民（ネイティブ・アメリカン）の青年と白人青年における飲酒行動およびアルコールの入手しやすさの差について</p>	
執筆者	
Friese B, Grube J.	
掲載誌（番号又は発行年月日）	
J Drug Educ. 2008;38(3):273-84.	
キーワード	
アメリカ大陸先住民（ネイティブ・アメリカン）、白人、青年、飲酒行動、アルコール入手源	
要 旨	
<p>目的・方法：</p> <p>361人のアメリカ大陸先住民（ネイティブ・アメリカン）の青年と1735人の白人青年における飲酒行動およびアルコールの入手源の差について検討した。年齢は11歳から19歳である。</p> <p>結果：</p> <p>白人青年に比べ、ネイティブ・アメリカンの青年は生涯アルコール摂取量が多く、調査時点から振り返って過去30日以内に泥酔した割合が多かった。飲酒するネイティブ・アメリカンの青年のアルコール入手先は、大人からも21歳未満の者からもどちらも白人青年に比べ約2倍多かった。白人青年飲酒者では両親から得るものが4倍ほどであった。両者はその他の社会的入手先には差が認められなかった。</p> <p>結論：</p> <p>若者のアルコール入手先に違いがあるため、アルコールの入手を制限するためにはこれらの違いを考慮する必要がある。本研究にて、人種による入手経路の違いを検討することの重要性が示された。</p>	